

国際開発学会 第32回全国大会

The 32nd JASID Annual Conference

2021年11月20日(土)・21日(日) オンライン開催

Sat. Nov. 20th ~ Sun. Nov. 21st, 2021, Virtual Event

大会プログラム

Conference Program



今年度の国際開発学会第 32 回全国大会は、金沢大学（角間キャンパス）での開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止策のもと、全てオンライン（Zoom）で 2021 年 11 月 20 日（土）、21 日（日）の 2 日間にわたり実施することになりました。

この度は、海外からの参加者も含む、多くの皆様にご応募頂きましたことに感謝申し上げます。

大会2日間で教育、医療、保健、農業、災害復興、コロナウイルス、市民社会、平和などのテーマで30セッション（プレナリーセッション1、企画セッション6セッション、ラウンドテーブル9セッション、一般口頭セッション 14セッション）とポスターセッション（オンデマンドビデオ、およびオンライン Q&A）を予定しています。

最後に、JASID 会長 佐藤仁 氏、JASID 大会組織委員長 山田肖子 氏、大会組織委員会および国際開発学会事務局からは、サポート、およびご助言を多く頂き深く感謝しております。

大会での皆様の活発な議論を願っております。

国際開発学会 第32回全国大会 実行委員会

委員長 和田 一哉（金沢大学）

事務局長 川澄 厚志（金沢大学）

委員 中村 聡（金沢大学）

ホームページ担当：大平貴之（AFRO Japani）

配信業者：株式会社ソウブン・ドットコム

The 32nd JASID Annual Conference was originally scheduled to be held at Kakuma Campus of Kanazawa University. However, to prevent further spread of COVID-19, it has been decided that this annual conference will be held virtually through Zoom video conferencing on Sat. Nov. 20th and Sun. Nov. 21st, 2021.

We are very grateful for many applications, including those from overseas.

We have 30 sessions in total including 7 sessions in English, which will be conducted virtually in real time; a plenary session, a special session organized by the Executive Committee and other sessions on the topics, such as education, medicine, health, agriculture, disaster reconstruction, COVID-19, civil society, and peace (6 organized sessions, 9 roundtable sessions, and 14 oral presentation sessions) and poster sessions, which are delivered by on-demand videos and online interactions over the Q&A platform.

Last but not least, we are very grateful for President of the JASID, Professor Jin Sato, Chair of the Conference Organization Committee of the JASID, Professor Shoko Yamada, the Conference Organization Committee, and Secretary General of the JASID, for their support and thoughtful advices.

We look forward to fruitful discussions during the conference.

The 32nd JASID Annual Conference Executive Committee

Executive Chair: Kazuya Wada (Kanazawa University)

Secretary General: Atsushi Kawasumi

Executive Committee member: Satoshi Nakamura

Annual Conference Websites: Takayuki Ohira (AFRO Japan)

Video Streaming Company: SOUBUN.COM Co.,Ltd.

大会プログラム/Conference Program

2021年11月20日 土曜日 / Sat. November 20th, 2021

※青くハイライトされているのは英語セッションで、オレンジのヘッディングはラウンドテーブルセッションです。以下日本語セッションは、日本語で英語セッションは英語で記されています。以下、全て時間はGMT + 9 /JST で記載されています。Those shaded in blue are sessions in English and those with orange headings are roundtable sessions. Sessions in Japanese are written in Japanese and sessions in English are in English. All the time in the schedule is based on GMT +9/JST.

国際開発学会 1日目 (11/20)

会場(教室)	A	B	C	D	E
午前の部 I / Morning Session I 9:00-11:00	A1 医療 (個人・日本語)	B1 インフラと 草の根開発 (個人・日本語)	C1 RT 「人の移動と開発」	D1 RT 「開発レジリエンスと SDGsの今後」	E1 Education (個人・英語)
ポスターセッション /Poster Session	ポスターセッション ※オンデマンドおよび オンラインQ&Aによる。詳細は大会プログラムページをご覧ください。 For more details about poster sessions, by on-demand videos and interactinos inthe online Q&A site, please visit our Conference Program page.				
1					
午後の部 I / Afternoon Session I 12:15-14:15	A2 企画 「コロナパンデミックを 踏まえたインフラ分野に おける途上国支援」	B2 教育 I (個人・日本語)	C2 保健・栄養 (個人・日本語)	D2 Community and Development in Asia (個人・英語)	E2 Agriculture (個人・英語)
プレナリーセッ ション / Plenary Session 14:20-17:05	プレナリーセッション / Plenary Session 「おんぼら一っしまっし。石川仕立ての創成と共生、そして開発」 "Creation, Inclusion, and Development from Ishikawa, Japan"				
総会 /JASID Member Meeting 17:10-18:40	総会 / JASID Member Meeting (Members-only event)				

大会プログラム Conference Program

2021年11月21日 日曜日 / Sun. November 21st, 2021

国際開発学会 2日目 (11/21)

会場(教室) Conference Room	A	B	C	D	E
午前の部 II / Morning Session II 9:30-11:30	A3 RT 「日本国内の課題解決に ODA人材は貢献しうるのか」	B3 環境・復興 (個人・日本語)	C3 産業・経済・労働 (個人・日本語)	D3 市民社会 (個人・日本語)	E3 企画「International Development Cooperation of Japan and South Korea」
昼食 Lunch 11:30-12:15					
午後の部 II / Afternoon Session II 12:15-14:15	A4 RT 「開発協力事業における 評価の方向性」	B4 教育 II (個人・日本語)	C4 企画 「アフリカ遊動社会における レジリエンス変容の探究」	D4 RT 「研究と実践のインター フェースを探る」	E4 Peace, Democracy and Global Divide (個人・英 語)
午後の部 III /Afternoon Session III 14:20-16:20	A5 企画 「ODAを活かしてCollective impactを実現することは可能 か？」	B5 RT 「「開発」の多重性」	C5 企画 「それぞれのウェルビーイン グのかたち」	D5 RT 地方展開委員会主催 「日本の地域から問い直す 国際開発アジェンダ」	E5 RT 「Cambodia Education and Teacher Reform under COVID-19 Pandemic」
午後の部 IV /Afternoon Session IV 16:25-18:25	A6 開発をどう見るか (個人・日本語)	B6 企画 「JASIDブックトーク」	C6 RT 「子どもの安全保障」	D6 空きセッション	E6 Social Development (個人・英語)

プレナリーセッション/Plenary Session

国際開発学会第 32 回全国大会 プレナリーシンポジウム プログラム

テーマ「おんぼらーっとしまっし。 石川仕立ての創成と共生、そして開発」

石川県では2011年、「能登の里山里海」が世界農業遺産に認定されています。金沢大学においても2007年から里山里海マイスタープログラムを能登学舎（珠洲市）にて実施するなど、里山里海、そして「地域」に対する重要性の認識を高めています。近年都市への人口集中、地域の過疎化は一層進行しています。他方、そのような流れとは一線を画した新たな価値を見出し、地域の意義を問い直す動きも活発化しつつあります。そしてCOVID-19問題も相俟って、今後の社会の在り方を再検討する必要性がより高まってきています。これらを、全ての地域を巻き込んだ「持続可能な社会」の実現に向けた動きのひとつであると捉え、各方面からディスカッションを招き、今後の社会の在り方を検討したいと考えています。

- ◆ **日時**：2021年11月20日（土）14時20分～17時05分
- ◆ **場所**：オンライン開催
 - 学会参加者：Zoom / 一般参加者：YouTube ライブ配信 <https://youtu.be/m4H0CD9plgY>
- ◆ **使用言語**：日本語、手話通訳付き
- ◆ **プログラム**

14:20～14:25	趣旨説明、司会 和田一哉 国際開発学会第32回大会実行委員長/ 金沢大学
14:25～14:50	基調講演 「FAO世界農業遺産事業の概要と農村開発への可能性」 遠藤芳英 FAO世界農業遺産コーディネーター
14:50～15:15	基調講演 「持続的発展のための人材育成：世界農業遺産（GIAHS）「能登の里山里海」と「フィリピン・イフガオの棚田」の連携事業」（25分） 中村浩二 金沢大学名誉教授/石川県立自然資料館館長
15:20～16:20	話題提供 （60分） 高橋一男 東洋大学国際学部教授 「地域資源の再評価と地域づくり –東洋大学能登ゼミの経験から–」 寺西俊一 一橋大学名誉教授 「自然資源経済と“輝く農山村”の創成 –個性的な“顔（FACE）”を大事にする自治的 地域づくりへ–」 北村健二 金沢大学先端科学・社会共創推進機構 研究員 「見渡せる範囲の実践共同体 –コスタリカと能登で学んだこと–」 清水愛美 佛子園理事・Share金沢施設長 「ごちゃまぜのまちづくり」
16:25～17:05	パネル・ディスカッション （40分） パネリスト：中村浩二、遠藤芳英、高橋一男、寺西俊一、北村健二、清水愛美 ファシリテーター：宇野文夫（金沢大学元教授）
	まとめと閉会 和田一哉

11月20日 土曜日 Sat. Nov. 20th, 2021

午前 I セッション Morning Session I 9:00-11:00 (GMT +9)

A1 医療（日本語）

座長：松山章子（津田塾大学）、コメンテーター：明石秀親（国立国際医療研究センター）、コメンテーター：青柳恵太郎（メトリクスワークコンサルタンツ）

発表者

- 1 パンデミックにおける医薬品へのアクセス— COVID-19との闘いにおける国際的な公正さとは—
勝間靖（国立国際医療研究センター（NCGM）グローバルヘルス政策研究センター（iGHP））
- 2 出産をめぐる医療サービスの利用と課題—パプアニューギニア・アラペシュ人女性の出産場所の選択をめぐる—
新本万里子（広島大学）
- 3 ベトナム中部における新型コロナウイルス感染症の医療サービス利用への影響 — トウア・ティエン・フエ省の医療データベースを使った分析 —
島村靖治（神戸大学）
- 4 ベトナム中部における妊産婦の検診・出産における医療施設選択行動の分析
佐藤希（愛知学院大学）

B1 インフラと草の根開発（日本語）

座長：林薫（文教大学）、コメンテーター：花岡伸也（東京工業大学）、コメンテーター：重富真一（明治学院大学）

発表者

- 1 バングラデシュ農村の飲料水供給におけるNGOの乱参入—シャムナゴール郡の事例から—
山田翔太（立命館大学大学院）
- 2 ラオスの少数民族モン族の移転に関わるごみ処理のマネジメントの構築 — ナムニアップ1水力発電プロジェクトに関わる少数民族の移転事例 —
筒井勝治（ニュージエック）、富岡健一（GUDC）、村上嘉謙（関西電力）
- 3 NGOによる開発途上国での農道渡河部のアクセス向上に向けた橋梁架設支援
福林良典（宮崎大学）、木村亮（京都大学大学院）
- 4 フィリピンのインフラガバナンス / Infrastructure Governance of the Philippines: Has “The Golden Age of Infrastructure” come?
伊藤晋（新潟県立大学）

C1 RT 「人の移動と開発—送出国にもたらす影響—」

- 1 企画責任者 (Organizer) : 加藤丈太郎 (早稲田大学)
- 2 司会 : 金澤真実 (上智大学)
- 3 発表者 : 加藤丈太郎、バズラチャルヤ・ディヌ (Nepal Policy Research Institute) 、田中雅子 (上智大学) 、石井洋子 (聖心女子大学)
- 4 討論者 : 齋藤百合子 (大東文化大学) 、米倉雪子 (昭和女子大学)

D1 RT 「開発レジリエンスとSDGsの今後—新型コロナウイルスパンデミック以後の課題—」

- 1 企画責任者 (Organizer) : 関谷雄一 (東京大学)
- 2 司会 : 関谷雄一
- 3 発表者 : 関谷雄一、大門毅 (早稲田大学) 、大谷順子 (大阪大学) 、乙部尚子 (ジェンダー、労働、開発コンサルタント)
- 4 討論者 : 野田真里 (茨城大学)

E1 Education (英語)

座長 : 澤村信英 (大阪大学) 、コメンテーター : 荻巣崇世 (上智大学) 、コメンテーター : 芦田明美 (早稲田大学)

発表者/Presenters :

- 1 Dynamic Use of Data and Evidence to Improve and Expand Operations for Educational Development: Case Study of Indian NGO "Pratham"
Takao Maruyama (Hiroshima University)
- 2 Student Mobility to Japan in the Age of COVID-19 —A Matter of Degree —
Lauren Noelani Nakasato (Waseda University), Nobuko Kayashima (JICA Ogata Sadako Research Center)
- 3 Explaining Rural-Urban Learning Achievement Inequalities in Primary Education in Benin, Burkina Faso, Togo, and Cameroon
Jean-Baptiste M.B. SANFO (University of Shiga Prefecture)

午後 I セッション Afternoon Session I 12:15-14:15 (GMT +9)

A2 企画「コロナパンデミックを踏まえたインフラ分野における途上国支援」

- 1 企画責任者：川辺了一（国際協力機構）
- 2 司会（Chair/Moderator）：小泉幸弘（国際協力機構）
- 3 発表者（Presenter）：金子素子（アルメックVPI）、久保彩子（国際協力機構）、田中圭介（国際協力機構）、藤田朗丈（ボストンコンサルティンググループ）、松原康一（日水コン）、松本重行（国際協力機構）
- 4 討論者（Discussant）：松丸亮（東洋大学）、花岡伸也（東京工業大学）

B2 教育 I（日本語）

座長：吉田和浩（広島大学）、コメンテーター：森下拓道（JICA）、コメンテーター：劉靖（東北大学）

発表者

- 1 教授言語と家庭言語の違いが学力に及ぼす影響 — ミャンマー連邦共和国小学5年生の事例 —
牟田博光（国際開発センター／大妻女子大学）
- 2 モザンビークの初等教育におけるローカルカリキュラムの可能性と課題 — カリキュラム開発者、教員、生徒へのインタビュー調査から —
日下智志（鳴門教育大学）
- 3 新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下における保護者の子どもへの家庭学習支援—国際比較調査の結果から—
谷口京子（広島大学）
- 4 ネパール基礎教育における修学実態の分析 — 留年は退学の主たる原因か —
江崎那留穂（愛知淑徳大学）

C2 保健・栄養（日本語）

座長：斎藤文彦（龍谷大学）、コメンテーター：古川光明（静岡県立大学）、コメンテーター：池見真由（札幌国際大学）

発表者

- 1 タンザニアの小学生の食品群・野生食物摂取と健康 — 南東部リンディ市におけるパイロット質問票調査 —
阪本公美子（宇都宮大学）、大森玲子（宇都宮大学）、Parinya Khemmarath（宇都宮大学）
- 2 ケニアの灌漑地域における農家の食料消費の実態や意識に関する調査—消費における近代と伝統の共存—
伊藤紀子（農林水産政策研究所）
- 3 ザンビアの都市部におけるCOVID-19の障害者団体への影響—障害者の対処に焦点をあてて—
日下部美佳（京都大学大学院）

D2 Community and Development in Asia (英語)

座長：豊田利久（神戸大学）、コメンテーター：高木泰士（東京工業大学）、コメンテーター：荒神衣美（アジア経済研究所）

発表者/Presenters：

- 1 Regional Distribution of Foreign Direct Investment in Indonesia: An Insight from Provinces and Sectors
Al Muizzuddin Fazaalloh (Nagoya University)
- 2 Consideration of Possible Tsunami Impact in the Coastal Areas of Pakistan by Numerical Modeling and Geographical Information Techniques
Babar Ali (Pakistan Meteorological Department / Toyo University), Ryo Matsumaru (Toyo University)
- 3 A Traditional Community House for the Ethnic Minorities in Central Vietnam —A Qualitative Study on Ten Years of Community Management—
Akiko Iizuka (Utsunomiya University), Ayako Fujieda (Kyoto Seika University), Ueru Tanaka (Setsunan University)

E2 Agriculture (英語)

座長：島村靖治（神戸大学）、コメンテーター：會田剛史（アジア経済研究所）、コメンテーター：倉田正充（上智大学）

発表者/Presenters：

- 1 Women's Socio-Economic Empowerment Through Agricultural Cooperatives: Case Study of Mali
Asmao Diallo (Doshisha University)
- 2 Determinants of Farm Households' Vulnerability: A Case Study of Municipality of Dingalan, Aurora Province, Philippines
Masahiko Jin (Nagoya University, Former student)
- 3 Assessing the Performance of Agricultural Insurance Programs Using Korten's Model of Fit: A Comparative Study of Japan and the Republic of the Philippines
Armand Christopher Rola (Doshisha University)

プレナリーセッション/Plenary session 14:20-17:05 (GMT +9)

総会 /JASID member meeting 17:10-18:40 (GMT +9)

11月21日 日曜日 Sun. Nov. 21st, 2021

午前 II セッション Morning session I 9:30-11:30 (GMT +9)

A3 RT 「日本国内の課題解決にODA人材は貢献しうるのか —途上国の教訓・ネットワークを国内に、国内の教訓・ネットワークを途上国へ—」

- 1 企画責任者 (Organizer) : 河野敬子 (海外コンサルタンツ協会)
- 2 司会 (Chair/Moderator) : 佐藤仁 (東京大学)
- 3 発表者 (Presenter) : 平林淳利 (JICA)、千田雅明 (パシフィックコンサルタンツ)、細江絵梨 (根浜MIND)
- 4 討論者 (Discussant) : 高野翔 (福井県立大学)

B3 環境・復興 (日本語)

座長: 安達一郎 (JICA研究所)、コメンテーター: 佐々木大輔 (東北大学)、コメンテーター: 石渡幹夫 (JICA)

発表者

- 1 パキスタン気象局技術グループ職員の専門知識共有に関する考察
内田善久 (東洋大学大学院/国際気象コンサルタント)、松丸亮 (東洋大学)
- 2 グローバル化におけるネパールの災害復興のネットワーク—ネパールの被災地パターンと在日ネパール人コミュニティの関係から—
竹内愛 (南山大学)
- 3 ラオス国山岳民族モン族の移転に伴う灌漑水田の開発と生活の変化 — 山地の陸稲から低地の水田へ —
富岡健一 (GUDC)、筒井勝治 (ニュージエック)、村上嘉謙 (関西電力)
- 4 インドネシアにおける泥炭地管理の制度的課題: 西カリマンタン州パワン・クプル泥炭ドームを事例として
久保英之 (地球環境戦略研究機関)、Arief Darmawan (インドネシア国ランブン大学)

C3 産業・経済・労働（日本語）

座長：小國和子（日本福祉大学）、コメンテーター：佐藤裕（都留文科大学）、コメンテーター：牧田りえ（学習院大学）

発表者

- 1 グラミン銀行は何をもたらしたのか—マイクロファイナンスによる成功者と多重債務化する人々—
鱈部行崇（法政大学大学院）
- 2 インドネシア共和国・ゴロンタロ州における生態系サービスと在来知を活用した持続可能な新産業の構築
榊原正幸（総合地球環境学研究所）、笠松浩樹（愛媛大学）、山口勉（エスペックミック）
- 3 バングラデシュにおける伝統的なカワウソ漁の考察—持続可能な開発の視点から見る伝統保存の意義—
田中志歩（広島大学大学院）

D3 市民社会（日本語）

座長：林裕（福岡大学）、コメンテーター：華井和代（東京大学）、コメンテーター：西浦昭雄（創価大学）

発表者

- 1 紛争影響国における全国スポーツ大会の観客への効果：南スーダンを事例として
古川光明（静岡県立大学）
- 2 日本企業のアフリカ進出に対するTICAD 6の影響
森尾貴広（筑波大学）
- 3 冷戦下における米国平和部隊の追放は何を意味するのか—ラテンアメリカ5カ国の比較検証—
河内久実子（横浜国立大学）
- 4 キャパシティ・デベロップメント事業における参加型評価とモニタリングの可能性—スリランカ 紅茶プランテーション農園コミュニティと大学生の協働事業評価から見えてきたもの—
栗原俊輔（宇都宮大学）

E3 企画 “International Development Cooperation of Japan and South Korea - New Strategies for an Uncertain World -” (英語)

- 1 企画責任者 (Organizer) :Tatsufumi Yamagata (Ritsumeikan Asia Pacific University)
- 2 司会 (Chair/Moderator) : Tatsufumi Yamagata
- 3 発表者 (Presenter) : Tatsufumi Yamagata, Shinichi Takeuchi (Tokyo University of Foreign Studies / IDE-JETRO), Huck-ju Kwon (Seoul National University), Jisun Song (Korea National Diplomatic Agency), Hyomin Jung (Kyoto University), Motoki Takahashi (Kyoto University), Eunju Kim (Hansung University)
- 4 討論者 (Discussant) :Toru Yanagihara (Takushoku University)

午後 II セッション Afternoon Session II 12:15-14:15 (GMT +9)

A4 RT「開発協力事業における評価の方向性」(日本語)

- 1 企画責任者 (Organizer) : 佐藤洋史 (国際協力機構)
- 2 司会 (Chair/Moderator) : 佐藤洋史
- 3 発表者 (Presenter) : 鴨谷哲 (JICA)、川本華子 (JICA)、秋元祥恵 (JICA)、富田洋行 (JICA)、大川太郎 (JICA)
- 4 討論者 (Discussant) : 伊藤 晋 (新潟県立大学)

B4 教育Ⅱ(日本語)

座長 : 關谷武司 (関西学院大学)、コメンテーター : 笹尾隆二郎 (アイシーネット株式会社)、コメンテーター : 石田洋子 (広島大学)

- 1 日本のODAによる留学生招へいの歴史—国費留学生とJICA留学生—
萱島信子 (JICA)、杉村美紀 (上智大学)
- 2 中国におけるアフリカ人留学生の進路選択とキャリア計画—浙江師範大学の学位取得型学生を事例に—
羅方舟 (大阪大学大学院)
- 3 コミュニティ学習センター (CLC) の自立発展性—ネパールでの協力事例から—
三宅隆史 (シャンティ国際ボランティア会)

C4 企画「アフリカ遊動社会におけるレジリエンス変容の探究—人道支援・開発ギャップ克服に向けて—」(日本語)

- 1 企画責任者 (Organizer) : 湖中真哉 (静岡県立大学)
- 2 司会 (Chair/Moderator) : 湖中真哉
- 3 発表者 (Presenter) : 島田剛 (明治大学)、孫曉剛 (静岡県立大学)、佐川徹 (慶應義塾大学)、波佐間逸博 (東洋大学)、湖中真哉
- 4 討論者 (Discussant) : 柳原透 (拓殖大学)

D4 RT「研究と実践のインターフェースを探る—研究×実践委員会主催ラウンドテーブル—」(日本語)

- 1 企画責任者 (Organizer) : 小林誉明 (横浜国立大学)
- 2 司会 (Chair/Moderator) : 小林誉明
- 3 発表者 (Presenter) : 小林誉明、志賀裕朗 (JICA緒方研究所)、ラミチャネ・カマル (筑波大学)、佐藤峰 (横浜国立大学)、浜名弘明 (デロイトトーマツコンサルティング)、功能聡子 (ARUN)

E4 Peace, Democracy and Global Divide (英語)

座長：花谷厚（JICA）、コメンテーター：片柳真理（広島大学）、コメンテーター：重田康博（宇都宮大学）

発表者

- 1 Global Citizenship Education - Youth work in an undemocratic society— AIESEC – an international student organization in Vietnam —
Nguyen Thanh Van (Sophia University)
- 2 Indigenous Self-determination in Cherán, Mexico: Organised Distrust as a Democratic Practice
Erick Cosme Gomez (Hiroshima Jogakuin University)
- 3 Transcending the Global-Local Divide: A Framework for Analyzing Technocracy in Peace Work
BALLESTEROS, Marie Donna (Nagoya University)
- 4 Formulation of Practical Model in Poverty Reduction by Microfinance—Analysis of Case Study in India—
Hiromi Inami (JDI)

午後 III セッション Afternoon Session III 14:20-16:20 (GMT +9)

A5 企画「ODAを活かしてCollective impactを実現することは可能か？—JICA「クラスター・アプローチ」を通じた共創の試みとその課題—」(日本語)

- 1 企画責任者 (Organizer) : 永見光三 (JICA)
- 2 司会 (Chair/Moderator) : 小林 誉明 (横浜国立大学・JASID研究×実践委員会委員長)
- 3 発表者 (Presenter) : 室谷龍太郎 (JICA)、吉田友哉 (JICA)、永見光三 (JICA)
- 4 討論者 (Discussant) : 功能 聡子 (ARUN)、キム・ソヤン (東京大学・西江大学)

B5 RT 「開発」の多重性—アジア・アフリカから語り始める—」(日本語)

- 1 企画責任者 (Organizer) : 汪牧耘 (東京大学)
- 2 司会 (Chair/Moderator) : 近江加奈子 (国際基督教大学)
- 3 発表者 (Presenter) : 綿貫竜史 (名古屋大学)、須藤玲 (東京大学)、神正光 (元名古屋大学学生)

C5 企画「それぞれのウェルビーイングのかたち—多様化する新興国・途上国での社会課題とコミュニティの現在—」(日本語・英語、同時通訳無し)

- 1 企画責任者 (Organizer) : 佐藤峰 (横浜国立大学)
- 2 司会 (Chair/Moderator) : 佐藤峰
- 3 発表者 (Presenter) : 菅野智子 (横浜国立大学)、Yesmen Kazia (横浜国立大学)、Saidur Rahman (横浜国立大学)、牛夢婷 (横浜国立大学)
- 4 討論者 (Discussant) : 小國和子 (日本福祉大学)

D5 RT 地方展開委員会主催「日本の地域から問い直す国際開発アジェンダ」(日本語)

- 1 企画責任者 (Organizer) : 佐野麻由子 (福岡県立大学)
- 2 司会 (Chair/Moderator) : 木全洋一郎
- 3 発表者 (Presenter) : 木全洋一郎 (JICA)、梶英樹 (高知大学)、工藤尚悟 (国際教養大学)
- 4 討論者 (Discussant) : 佐藤仁 (東京大学)

**E5 RT “Cambodia Education and Teacher Reform under COVID-19 Pandemic”
(英語)**

- 1 企画責任者 (Organizer) :Masato Noda (Ibaraki University)
- 2 司会 (Chair/Moderator) : Masato Noda
- 3 発表者 (Presenter) : Dy Samsideth (Ministry of Education Youth and Sport: MoEYS, Royal Government of Cambodia), Yuto Kitamura (The University of Tokyo), Chhinh Sitha (Cambodia Education Research Council), Ashida Akemi (Waseda University), Takayo Ogisu (Sophia University), Bo Chankoulika (MoEYS), Yasushi Hirosato (Sophia University), and Ngov Penghuy (Royal University of Phnom Penh)

午後 IV セッション Afternoon Session III 16:25-18:25(GMT +9)

A6 開発をどう見るか（日本語）

座長：久木田純（関西学院大学）、コメンテーター：関根久雄（筑波大学）、コメンテーター：山田恭稔（中央大学）

発表者

- 1 パラグアイ農村女性生活改善プロジェクトを評価する—第三の道としてのオンライン国際協力とその評価
藤掛洋子（横浜国立大学）
- 2 「地域社会の組織力」をどう見つけるか—参加型農村開発実践のための地域社会調査手法構築に向けて—
重富真一（明治学院大学）
- 3 「見る」という普遍言語—写真を「読む」ことを通じて考える—
平田オーエン 慈花（HAPTICS）
- 4 開発における自律概念の再考—を基礎とした自律と関係性を基礎とした自律の視点から—
近江加奈子（国際基督教大学）

B6 企画「JASIDブックトーク」（日本語）

座長：佐藤寛（アジア経済研究所）・道中真紀（日本評論社）

- 1 清水展・小國和子／編『職場・学校で活かす現場グラフィー：ダイバーシティ時代の可能性をひらくために』
（明石書店、2021年2月刊、A5判272頁、本体2500円＋税）
報告者：小國和子（日本福祉大学）、大江道雅（明石書店）
討論者：佐藤寛（アジア経済研究所）
- 2 飯塚倫子／編著『＜善い＞ビジネスが成長を生む：破壊と包摂のイノベーション』（慶應義塾大学出版会、2021年11月刊、四六判458頁、本体2,200円＋税）
報告者：飯塚倫子（政策研究大学院大学）、木内鉄也（慶應義塾大学出版会）
討論者：高田潤一（東京工業大学）
- 3 大谷順子／編『四川大地震から学ぶ：復興のなかのコミュニティと「中国式レジリエンス」の構築』（九州大学出版会、2021年9月刊、A5判314頁、本体3,800円＋税）
報告者：大谷順子（大阪大学）、高欣（大阪大学）、陳逸璇（大阪大学）、王芸璇（大阪大学）、李婧（大阪大学）、奥野有希（九州大学出版会）
討論者：飯塚明子（宇都宮大学）
- 4 佐藤由利子／著『日本の留学生政策の評価：人材養成、友好促進、経済効果の視点から〔増補新装版〕』（東信堂、2021年11月刊、A5判288頁、本体3,600円＋税）
報告者：佐藤由利子（東京工業大学）、下田勝司（東信堂）

討論者：黒田一雄（早稲田大学）

5 (1)重田康博・太田和宏・福島浩治・藤田和子／編著『日本の国際協力 アジア編：経済成長から「持続可能な社会」の実現へ』（ミネルヴァ書房、2021年6月刊、A5判314頁、本体3,800円+税）

(2)阪本公美子・岡野内正・山中達也／編著『日本の国際協力 中東・アフリカ編：貧困と紛争にどう向き合うか』（ミネルヴァ書房、2021年8月刊、A5判368頁、本体4,400円+税）

報告者：阪本公美子（宇都宮大学）、重田康博（宇都宮大学）

討論者：大橋正明（聖心女子大学）

6 岡野内正／著『グローバル・ベーシック・インカム構想の射程：批判開発学／SDGsとの対話』（法律文化社、2021年6月刊、A5判260頁、本体3,300円+税）

報告者：岡野内正（法政大学）

討論者：佐藤寛（アジア経済研究所）

C6 RT 「子どもの安全保障—日本において社会的に周縁化されやすい子どもたち—」（日本語）

1 企画責任者（Organizer）：勝間靖（早稲田大学）

2 司会（Chair/Moderator）：勝間靖

3 発表者（Presenter）：高柳妙子（早稲田大学）、中村安秀（日本WHO協会）

E6 Social Development（英語）

座長：伊東早苗（名古屋大学）、コメンテーター：田中雅子（上智大学）、コメンテーター：金 昭延（Sogang Univeristy）

発表者：

1 An Investigation of the Entrepreneurial Motivations and Environmental Factors influencing Entrepreneurship in Sub-Saharan Africa

Nathanael Nzoughe Ngome (Chuo University)

2 Gender and Sexual Diversity and Understanding Development: A Direction for Redesigning Post-Pandemic Development Paradigm

Takeshi Daimon-Sato (Waseda University)

3 The impact of incentive payment for health workers on patients' health facility choice: A case study of the health sector in Cambodia

Ziying Liu (Kobe University)

4 The impact of COVID-19 crisis in Japan: Gender and the world of work

Naoko Otobe (Consultant on Gender, Work and Development)